審査前の暗記事項一覧

以下に昇級審査時に、成年部(高校生以上)の審査課題である質疑応答に対する暗記事項を提示します。

なお、質疑応答に回答する際は、必ず回答の最後は『です。・ます。』で終わること。

緑帯(6級)

Q:トゥルの意味

トゥル	意味		
と分い(自山)	日本による植民地支配の時代、その全生涯を朝鮮の教育の向上と独立		
トサン(島山)	運動に捧げた、安昌浩(アン・チャンホ)の雅号。動作数は24。		
ウォニョ(元曉)	西暦 686 年新羅の王朝に仏教を初めて伝えた高僧、元曉(ウォニョ)		
	の名にちなんだ。動作数は28。		

Q:立ち方の説明をしてください。

立ち方	説明		
	・後ろ足の外側を真横に向ける。		
	(内側は約 15 [°] 内側に向きます。)		
	・前足の外側を真っ直ぐに向ける。		
	(内側は約 15° 内側に向きます。)		
コジョンソギ	・横幅は後ろ足の踵のラインに前足の親指側が来るように置く。		
	・縦幅は後ろ足の 親指側 から前足のつま先が肩幅の 1.5 倍。		
	・後ろ足の膝は、膝の先端とつま先が揃うまで曲げる。		
	・前足の膝は、体重配分が前足:後ろ足で5:5になるように曲げる。		
	・体の向きは常に 45° 。		
	・後ろ足の外側を真横に向ける。		
	(内側は約 15° 内側に向きます。)		
	・前足の内側を約 25° 内側に向ける。		
	・横幅は後ろ足の踵のラインに前足の 小指側 が来るように置く。		
ティッパルソギ	・縦幅は後ろ足の小指側から前足のつま先が肩幅。		
	・後ろ足の膝は、膝の先端とつま先が揃うまで曲げる。		
	・前足は踵を少し上げる。		
	・体重配分は、前足:後ろ足で1:9。		
	・体の向きは常に 45° 。		

【動作名称】

- ・赤字のものを発音すること。
- ・単語末尾の『ク』『プ』は日本語では発音しません。
- ・④については、体重が乗っている方の足を基準に同じ側の手を『パロ』、反対の手を『パンデ』とします。ただし、均等に乗る場合(コンヌンソギ)は前足が基準となります。

Q:トサンに出てくる新しい動作の名称

• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •				
1	2	3	4	5
立ち方	使用部位	高さ区分	正•逆	動作名称
コンヌンソギ(歩+立)	パカパルモク(外腕)	ノプンデ(上段)	パロ (順·正)	ヨンマッキ(横受)
コンヌンソギ(歩+立)	アプチュモ ク(正拳)	カウンデ(中段)	パンデ (逆・反対)	チルギ(突)
コンヌンソギ(歩+立)	ソンソンク(縦+指先)	カウンデ(中段)	パロ(順·正)	トゥルキ(貫)
コンヌンソギ(歩+立)	トゥンジュモ ク(裏拳)	ノプンデ(上段)	パロ (順·正)	ョプテリギ(横+殴打)
コンヌンソギ(歩+立)	パカパルモク(外腕)	ノプンデ (上段)	※区分出来ないので発しない	ヘチョマッキ (掻分+受)
※蹴り技なので発しない	アプクムチ(上足底)	カウンデ(中段)	※蹴り技なので発しない	アプチャプシギ(前蹴)
アンヌンソギ(座+立)	ソンカル(手刀)	カウンデ(中段)	※区分出来ないので発しない	ョプテリギ(横+殴打)

Q:ウォニョに出てくる新しい動作の名称

(1) A TICH (COM OF MI WITH					
1	2	3	4	5	
立ち方	使用部位	高さ区分	正∙逆	動作名称	
	モアチュンピソギ A (閉足準備立 A)				
ニウンチャソ ギ(L字立)	ソンカル(手刀)	ノプンデ (上段)	※区分出来ないので発しない	アヌロテリギ(内+殴打)	
コジョンソ ギ(固定立)	アプチュモ ク(正拳)	カウンデ (中段)	パロ(順・正)	チルギ(突)	
クブリョチュンビソギ					
(屈+準備立)					
※蹴り技なので発しない	ティックムチ(踵部分)	カウンデ (中段)	※蹴り技なので発しない	ョプチャチルギ(横蹴+突)	
コンヌンソギ(歩+立)	アンパルモク(内腕)	※区分の無い動作なので発しない	※区分出来ないので発しない	トルリミョマッキ(回転受)	
※蹴り技なので発しない	アプクムチ(上足底)	ナジュンデ(下段)	※蹴り技なので発しない	アプチャプシギ(前蹴)	
ニウンチャソ ギ(L字立)	パルモク(腕:手首)	カウンデ(中段)	※区分出来ないので発しない	テビマッキ(対備受)	

Q: イーボマッソギ3番に出てくる新しい動作の名称

1	2	3	4	5
立ち方	使用部位	高さ区分	正∙逆	動作名称
コンヌンソギ(歩+立)	サンジュモク(双+拳)	※上段しかありえないので発しない	※区分出来ないので発しない	セウォチルギ(縦+突)
コンヌンソギ(歩+立)	キョチャチュモク(交差+拳)	※下段のみなので発しない	※区分出来ないので発しない	ヌルロマッキ(抑+受)

Q: イーボマッソギ6番に出てくる新しい動作の名称

立ち方 ティッパルソギ(後脚立)	使用部位 ソンカル(手刀)	高さ区分 カウンデ(中段)	正・逆 ※区分出来ないので発しない	動作名称 デビマッキ(対備受)
1	2	3	4	5

【蹴りの名称】

Q:緑帯で習得する蹴りの名称

キボンチャギに出てくる蹴り	試割で出てくる蹴り
ティミョ・パンデトルリョチャギ(飛+逆+廻+蹴)	ノピチャギ(高+蹴)
ティミョ・トラヨプチャチルギ(飛+回+横+蹴+突)	